

会 議 録

会議の名称	令和5年度 第1回小川町水道審議会
開催日時	令和5年6月29日(木) 午後2時00分 ~ 3時15分
開催場所	第二委員会室
出席者	【出席委員】(9名)【上下水道課】(6名)
会議の内容	水道料金改定について
会議の公開又は非公開の別	公開
傍聴人の数	0名
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 令和2年度から現在までの経過について ・ 適正な料金改定及び新料金体系の基本方針について ・ 各市町村料金一覧
会議録の作成方針	<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
事務局	上下水道課 水道グループ
会議の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 町長あいさつ 3 委員・事務局紹介 4 会長及び副会長の互選 5 会長あいさつ 6 諮問

- 7 議事
 - (1) 審議会の公開又は非公開について
 - (2) 水道料金改定について
- 8 その他
- 9 閉会

【議事】

1) 審議会の公開又は非公開について

事務局

- ・審議会の公開又は非公開について説明

【結果】

原則公開とする

2) 水道料金改定について

事務局

- ・次の事項について事務局より資料に基づき説明
前回の答申から今回の審議会に至るまでの経緯
水道事業の現状について
適正な料金改定及び新料金体系の基本方針について

【質疑応答】

松岡会長

(質問) 料金回収率の回収できない理由はどういったものがあるのか。

(回答 事務局 大嶋主幹) こちらに関しましては漏水等の料金として回収できないものを含んだ率となっているため、そういうものが原因として考えられる。

松岡会長

(質問) 用途別や口径別のやり方があるということは理解したが、具体的に口径の大きさによりどれくらいの割合で料金が上がるのか次の会議までに示していただきたい。

(回答 事務局 大嶋主幹) 承知いたしました。次回はそういった資料を用意させ

ていただきたい。

梶ヶ谷委員

（質問）今回の料金改定にあたって、口径別にすることによりどれだけ影響があるのか、一般家庭や会社などのいくつかの例を出し、検討していただきたい。

（回答 事務局 田端課長） 料金を全体で21%上げることにあたり、具体的に料金体系を用途別から口径別に変更することによるシミュレーションを行っていききたい。小川町では家事用の件数が全体の8割であり、そういった点を踏まえて検討していききたい。

松岡会長

（質問）今回の会議中に話があったコロナ減免による生活支援も大事だが、迫ってきた水道事業経営の課題解決に力を入れていただきたい。前回、料金を改定したのが平成8年であり、漏水等のことを考え、水の供給にお金を回すのは大事なことであり、今回の水道料金21%改定は仕方がないところがある。小川町の家事用が全体に占める割合が大きいことを考慮し、難しいことだとは思いますが、なるべく平等になるように作り上げていただきたい。

また、県水の受水量について明確な回答が未だにないとのことだが、そちらの埼玉県との交渉についても、進めていただきたい。

（回答 事務局 田端課長） 承知いたしました。また、県水の受水量については引き続き埼玉県（企業局）と協議を進めていきたい。

【結果】

松岡会長

今回の内容を踏まえ、次回は具体的な料金改定率及び新料金体系について、いくつかのパターンを検討していく。